



平成 31 年 2 月 22 日  
海 上 保 安 庁

S r i Lanka  
**「光り輝く島」スリランカの海洋環境保全に貢献！**

～スリランカ沿岸警備庁職員に海上保安庁専門家が油防除訓練・研修を実施～

海上保安庁は、2月4日(月)から17日(日)までの間、海上保安庁の油流出事故等海上災害対応の専門家である機動防除隊員等職員5名をスリランカへ派遣し、同国沿岸警備庁職員計60名に対し、日本供与巡視艇や油防除資機材を使用した油防除技術に関する指導を行い、スリランカの沿岸域における油防除技術の向上に大きく貢献しました。

- 海上保安庁では、スリランカ政府からの要請を受け、2015年から2017年までの間、同国沿岸警備庁に対し、港内等での油防除資機材取扱訓練など油防除に関する基礎的な訓練(第1期)を実施してきました。今訓練は、供与巡視艇や油防除資機材を使用した沿岸域における原油流出事故対応などより高度な技術供与を行う「第2期」に移行しての初の訓練となりました。
- 本訓練・研修はスリランカ側から高い評価を受けており、昨年コロombo近郊において発生した油流出事案に際し、これまで研修を受けた同庁職員が日本供与巡視艇と資機材を活用して油防除活動にあたりました。
- 今後とも海上保安庁では、「自由で開かれたインド太平洋」構想の推進を念頭に、このような取組を通じ、他国海上保安機関との信頼関係の更なる深化を図るとともに、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の維持・強化に貢献してまいります。

**【日程等】**

派遣期間：2月4日(月)から17日(日)まで (14日間)

派遣先：コロombo、ミリッサ、ゴールの3都市

派遣者：海上保安庁モバイルコーポレーションチーム職員2名、本庁環境防災課職員1名  
機動防除隊員2名

訓練対象者：スリランカ沿岸警備庁(SLCG)職員 合計60名

(内訳) 我が国供与巡視艇乗組員30名

ストライクチーム(油防除や救助を任務とするチーム)20名

ストライクチームのインストラクター10名

実施内容:

- ①原油流出事故対応及び油防除資機材取扱いに関する講義

原油の危険性、海上流出時の石油ガスの挙動、対応にあたって留意すべき事項等及び各種油防除資機材

の性能、取扱い等に関する講義。

## ②油防除資機材取扱等訓練

集油装置、回収装置、貯油装置及び油処理剤散布装置の陸上及び洋上における取扱い並びに巡視艇運航訓練。

※15日(金)、コロンボ港において、蘭浦内閣総理大臣補佐官が供与巡視艇及び油防除資機材の視察を行うとともに、本研修の閉講式に参加され、訓練対象者等に対して激励の挨拶をいただいています。

## ○ 研修・訓練等の様子



講義の状況



訓練の状況



訓練の状況



訓練の状況



閉講式(集合写真)



蘭浦内閣総理大臣補佐官の激励